## ------10月10日------　2016年

### ※ 今週のアウトルック（10/10～10/14）

先週は週初めから円安に向かう流れとなりましたが、米国雇用統計発表後は一転、円高の流れに大きく変わりました。
今週は11月の米国の利上げがないという見方が濃厚となる中、どのあたりが下げ止まりとなるのかが、まずは焦点となりそうです。

先週ドル円は、104円までドル高が進みましたが、米国雇用統計の悪化を受けて一転、103円を割り込んでそのままNY市場を終了しています。
今週は、米国雇用統計悪化の余波がどのあたりで収まるかが、まずは焦点となりそうです。なかなか下げ止まりラインが見えてこない場合には、100円付近を狙おうとする動きも出てくる可能性がありますので、急激な下げには注意が必要なように思います。

ドル円の予想レンジは100円から103円です。

先週のユーロ円は、ドル円に歩調を合わせて週末に115円付近まで下落して、NY市場を終了しています。
今週は、ドル円の下げ止まりラインがまずは焦点となりそうですが、ユーロドルの巻き返しからのユーロ円の上昇、ということも若干の可能性はあるように思います。

ユーロ円の予想レンジは112円から117円です。

ポンド円は先週の金曜日8時ころ、131円を割り込むと一気に126.5円付近まで急落しました。その後、129円付近まで一度戻しましたが、下落基調はまだ収まっていないようです。
今週は、再び127円以下を狙う動きが出てくる可能性はありそうです。

ポンド円の予想レンジは125円から129円です。

今週は、米国雇用統計の悪化の余波が、どこまで波及するかのまずは焦点が集まりそうですが、週明け10日は、東京市場、NY市場が休場となり、薄商い時を狙った投機的な動きには十分な注意が必要なように思います。

＊免責事項＊
当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。